

山と花のたより 117号

2010年5月15日 松尾

メールアドレス tadashi6414@smile.ocn.ne.jp

金剛山で春の花を愉しむ

5月3日から3日連続して金剛山に登った。いずれも早朝単車で登山口まで行き、正午又は午後の早い時刻に帰宅したのだが、3回とも往復のコースを変えて歩いたので、部分的にダブリつつも、この山の北側からのルートをいろいろと辿ることができた。

ゴールデンウィーク中らしく多くの登山者で賑わう山頂葛木神社前でぜんざいをいただく一方、誰とも会わず花だけに挨拶しながら、ミソサザイの轉りのなかで藪こぎした時もあった。

カトラ谷のニリンソウの大群落、針葉樹林下で群れ咲くミヤマカタバミ、春陽を浴びて輝く雑木林の新緑とその中のミツバツツジ、林縁部を彩るフジ、アケビ、シロバナハンショウズル、ひっそりと咲くソハヤキイカリソウなどなど春の花を満喫した日々となった。

カトラ谷のヤマシャクヤクはいずれも蕾の段階だが、5月10日前後には花を開くだろう。クリンソウもまだまだのようだ。尾根筋の路にカタクリが彩りを添えていた。



写真上 加持祈禱を行う山伏たち



ジロボウエンゴサク



サイコクサバノオ



写真上 シロバナハンショウズル



この山に多いソハヤキイカリソウ



写真上 ミヤマカタバミ

湖北・横山岳に春をたずねて



上の写真 イワウチワ(イワウメ科イワウチワ属)

ソウ、イチリンソウ、ミヤマキケマンが出迎えてくれる。花は嬉しいが登山路は厳しく、しかも時には分厚い残雪が造るアーチをくぐったりしながら、急傾斜で登って行く。

イカリソウ、ヒトリシズカ、ハルリンドウ、エンレイソウなどに慰められながら、急登を登るとヤマシャクヤクがポワーンと咲いている。一同しげしげと眺めて感嘆。

正午過ぎて頂上着。やっと昼食にありつく。琵琶湖と四囲のみどりを眺めながらの食事。至福の一時。傍らのタムシバの花がまぶしい。

今日の下山路は東尾根ルート。はじめての道。痩せた岩尾根だが展望にすぐれている。はるか北に見える冠雪の高い頂は福井県の荒島岳であろう。その東方にある鋭鋒は濃郷白山か。

そして足元にはイワナシの群落が続くのだ。こんなに沢山のイワナシの花を見たのは初めて。続いてイワウチワがああ可憐なピンクの花をいっぱい並べて歓迎してくれる。やがて道はブナ林に入るのだが、目に染みるようなその新緑の下もイワウチワが一面に飾っているのだ。

春の息吹きを体いっぱい頂いた一日だった。感謝。感謝。



タムシバ (モクレン科)

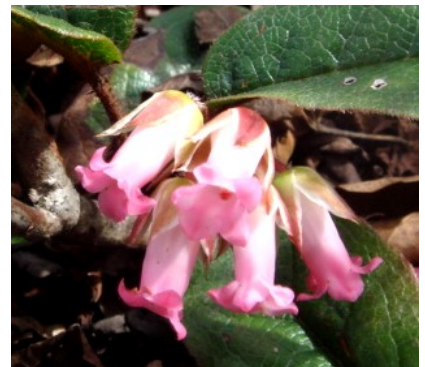
(以上 117 号)

5月8日オオヤマレンゲ山の会の例会登山で滋賀県の横山岳に登った。この日も幸運な晴天。車の所有者諸氏に無理を頼んで、少々ダートな林道をのぼってもらい、1台を東尾根コース下山口に配置して、経ガ滝近くから登山開始。

早速ミヤマハコベ、ニリ



写真上 ヤマシャクヤク



イワナシ(ツツジ科イワナシ属)



イカリソウ (メギ科)